

資料 4

教員の障がい特性に応じた取組

番号	校種	障がいの種別	級	授業	分掌	部活動	その他
1	高校	視覚障がい	4級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターや生徒のパソコンのモニターに黒板記述内容を映し出して指導している。</li> <li>・生徒からの提出物について、色彩の確認が必要な場合は、他の教諭が確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のパソコンの画面では見づらいため、外付けの大型液晶モニターを使用している。</li> <li>・パソコンのスキルを活用して、ホームページの管理、学校要覧作成等に取り組んでいる。</li> </ul>	・放送部顧問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議等の資料は拡大コピーやPDF化により、見やすくしている。</li> <li>・障がいの状況を周囲の職員に伝えているため、周囲の職員も自然に配慮ができています。</li> <li>・職員室などの通路が荷物などでふさがれないようにしている。</li> </ul>
2	高校	心臓機能障がい	1級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペースメーカーが反応する可能性のある設備を使用する業務には従事しない。</li> </ul>	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペースメーカーの会社の担当者に学校にきてもらい、ペースメーカーが反応する可能性のある設備がどこにあるかを調べてもらうとともに、その結果を他の職員にも周知したうえで、業務分担の配慮を行っている。</li> </ul>
3	高校	下肢機能障がい	4級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3限以上授業が連続しないような時間割にしている。</li> </ul>	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休暇が取りやすいような時間割にしている。</li> <li>・新たに洋式トイレを整備した。</li> </ul>
4	高校	精神障がい	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなストレスがかからないよう、業務量や業務内容について配慮している。</li> </ul>	・卓球部顧問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌内に同じ教科の職員を配置するなど、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。</li> </ul>
5	小	四肢体幹機能障がい	5級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点校指導に従事し、若手職員の育成等を行っている。</li> </ul>	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点校指導員として各学校を訪問し、若手職員の育成に努めている。</li> <li>・学校の駐車場は出入口に近いところを割り当てている。</li> <li>・1階・2階に車イスを用意しており、それを使って移動している。階段は杖を使って上り下りしている。</li> </ul>
6	小	両下肢機能障がい	4級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専科</li> <li>・移動の少ない業務を担当し、3階での授業を極力減らしている。</li> <li>・若手職員の育成のため、チームティーチングとして授業に参加し、指導を行ってもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務主任(教育課程、時間割など)</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段は杖を使用し、各階に車イスを用意している。1階は個人用の物を、2・3階は学校備品を用意している。</li> <li>・冬季は足の冷えにより痛みが出るため、個人用電気ストーブを使用している。</li> <li>・通路にゴミ箱など物を置かないようにしている。</li> <li>・会議を行う際には、車イスが入る大きな机を用意したり、出入口に近いところに席を用意している。</li> </ul>
7	小	内臓機能障がい	1級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任</li> <li>・体力的な作業を軽減している。(運動会などは放送を担当するなど、屋外に長時間いる必要がないようにしている。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化鑑賞担当として講演の依頼などの業務を担っている。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調などをお互いに心配しあうなど、思いやりの職場づくりを心がけている。</li> </ul>

番号	校種	障がいの種別	級	授業	分掌	部活動	その他
8	小	股関節機能障がい	4級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任</li> <li>・学級担任は人数が少なく子どもの状態が落ち着いている学年に配置し、教育支援ボランティアを担当学級へ優先的に配置している。</li> <li>・体育の授業は、他の学級と合同で行うなど協力して行っている。本人は他の教員等と連携しながら、可能な範囲で知識や経験を生かした指導にあたっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務分掌は体への負担が少ないものを担当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりクラブ顧問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等では動く絶対量が少ないものを担当</li> <li>・年度当初の職員会議の場で、本人が障がいの状況について、他の職員へ説明し、理解を求めるなどを行ったため、他の教員も理解し配慮につながっている。</li> </ul>
9	小	内臓機能障がい	1級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専科として週20時間の授業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務担当</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該職員は担任を持ちたいと考えているが、通院治療、定期的な検査等のため、休まなければならない日も多く、担任希望を言い出せない。休んだときに、授業や校務分掌で後補充してくれる加配教員がいてくれれば、もっと自信を持っているんな教員としての仕事に取り組めると感じる。</li> </ul>
10	小	精神障がい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導、児童会活動</li> <li>・複数で担当している。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調の悪いときは時間年休をとってもらい、なるべく早く休んでもらうようにしている。</li> <li>・相談ごとがあればいつでも校長室に来るよう伝えている。</li> </ul>
11	中	上肢機能障害	6級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副担任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンが得意であるため、ICT(情報処理、学校HP)を担当してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術部顧問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が障がいの状況を周囲の職員に理解されないと悩んでいたが、校長が互いに気兼ねなく話し合える環境づくりに努めたことが、本人のストレス軽減につながっている。</li> <li>・裁断機、自動電気ホチキス、自動紙折り機・インパクトドライバーなどの備品があると助かると話している。</li> </ul>
12	中	視覚障がい	3級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任、数学担当</li> <li>・チーム・ティーティングによる授業を行い、ペアの職員にフォローしてもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年生徒指導の業務においては、校内の生徒同士のトラブルについて、生徒の話を聞いたり、外回りについては、他の職員とペアになって行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球部顧問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間の補導や薄暗い場所での業務には従事しない。</li> <li>・他の教員が、視野の狭さ(挙手している生徒等の認識)や文字の読み取り時間の課題(ノートなどの点検作業等)について大きな支援となっている。</li> </ul>
13	中	視覚障がい	2級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副担任</li> <li>・社会科3クラス担当(チーム・ティーティングによる授業を行う)</li> <li>・特別支援学級生徒1名に対し、特別支援学級にて社会の授業を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育・環境美化副担当(3名担当)</li> <li>・仕事は必ず複数で行い、文書については確認作業を進めている。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該職員は、職員室が狭いため机周りにスペースがなく、施設を改善してほしいと話している。</li> <li>・他の職員へは障がいの状況を自分で説明している。</li> <li>・また、自分が受け持つ学年や指導するクラブの生徒に対してはその都度障がいの状況について説明し、理解を得ている。</li> </ul>

番号	校種	障がいの種別	級	授業	分掌	部活動	その他
14	中	両股関節機能障がい	4級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任</li> <li>・授業は座って行うことが多い。</li> <li>・パソコンやプロジェクター、ホワイトボードを使って、授業を行っているため、座りながらの授業が可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備担当(大掃除の担当割や区分けなどを行っている。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン部副顧問。練習計画の推進や安全管理担当を座りながら行っている。</li> <li>・主顧問とペアで指導を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター、洋式トイレ、職員玄関前スロープが設置されている。</li> </ul>
15	中	内臓機能障がい	1級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科、特別支援(個別)</li> <li>・授業については、チーム・ティーチングを基本とする</li> <li>・3日間における授業割り振りを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケット部副顧問</li> <li>・業務量を軽減している。</li> </ul>	—
16	中	精神障がい		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育、特別支援</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケット部副顧問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿直室を休憩室として使っている。</li> <li>・管理職から声掛けを行い、相談にのっている。</li> </ul>

